

小杉インターパークの開発について

1 小杉インターパークの現況

場 所	射水市上野地内
開発区域面積	32.7ha
工業用地面積	17.1ha
用 途	市街化調整区域（建ぺい率 60%、容積率 200%）

これまでの経緯

時 期	内 容
昭和60年	企業適地調査開始
平成 3年 8月	用地買収開始
平成 4年 3月	用地買収終了
平成 4年11月	開発行為許可 取得
平成 5年度	埋蔵文化財の現地調査終了
平成 6年 3月	工業用地の売買に関する予約契約書締結
平成14年 7月	企業が進出断念を表明
平成15年 3月	土地売買予約契約解除の覚書を締結
平成17年11月	射水市誕生、引き続き企業誘致に努めている。

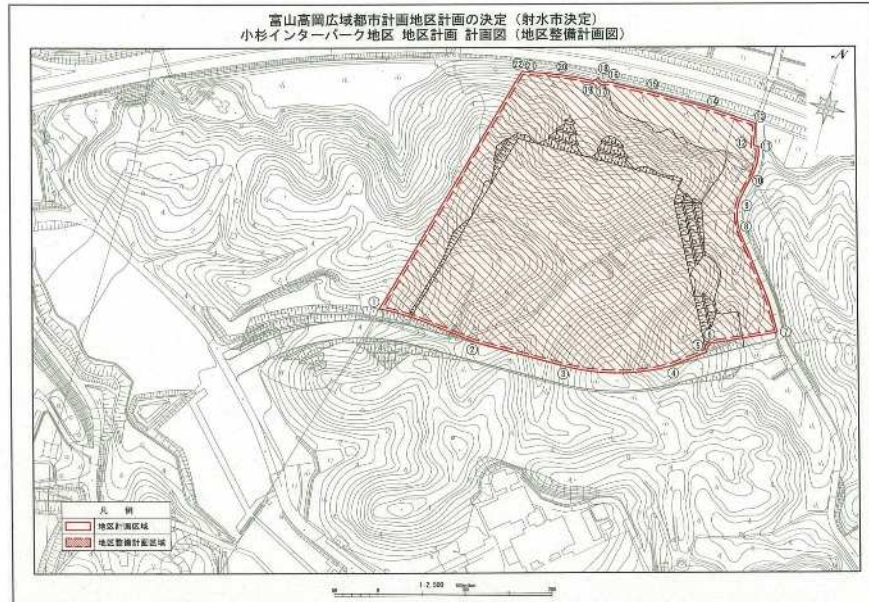
2 立地環境

北陸自動車道小杉インターチェンジに隣接し、市内の南北の幹線道路である国道472号にも接している。伏木富山港新湊地区（富山新港）にも車で約15分という距離にあり、交通の要衝となっている。

こうした立地環境を受けて、市の地域防災計画では、この付近を救援物資の受入れや管理、仕分け、搬出や積み替えを行う活動拠点として位置付けている。

3 今回の開発概要

エリア内の約11.0haについて地区計画を策定し、交流人口の拡大を目指す大型集客施設を誘致するもの。



4 大型集客施設の誘致に至った経緯

射水市では、交流人口の拡大による地域活性化のためには、核となる大型集客施設が必要であると考え、現在、国内で一番注目されている大型商業施設であるコストコホールセールの誘致に向けて、協議を行っている。